

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名:瑞浪市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名 等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名・運 行(航)区間、整備内容等を記 載(陸上交通に係る確保維持 事業において、車両減価償却 費等及び公有民営方式車両購 入費に係る国庫補助金の交付 を受けている場合、離島航路に 係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検 討の経費を除く。)を受けている 場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間に おいて、前回の事業評価結果 をどのように生活交通確保維 持改善計画に反映させた上で 事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切 に実施されたかを記載。計 画どおり実施されなかった 場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定 量的な目標・効果が達成さ れたかを、目標ごとに記載。 目標・効果が達成できな かった場合には、理由等を 分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより 適切な目標を記載。改善策は、 事業者の取り組みだけでなく、 地域の取り組みについて広く記 載。特に、評価結果を生活交通 確保維持改善計画にどのよう に反映させるか(方向性又は具 体的な内容)を必ず記載するこ と。】 ※なお、当該年度で事業が完 了した場合はその旨記載
平和コーポレーション株式 会社	日吉＝明世ルート	平成28年10月からの運行で あり、前回の事業評価実績な し。	A 計画どおり事業は実施され た。	C 1日の稼働便数は1.96 便、利用人数は2.85人 で、目標値(1日4便、利用 人数16人)は達成できな かった。導入1年目であり、 利用人数の想定が困難で あった。	①目標値については、今後の 実績も踏まえて適正な目標値 を検討する。特に日吉＝明世 ルートは目標値と実績との乖離 が大きいため、検討の必要性 が高い。 ②引き続き、制度周知に努め る。運転免許証自主返納支援 制度の実施により自家用車か ら公共交通機関への利用の転 換を促進する。また、デマンド 交通の観光利用により、稼働 便数、利用人数の増加を図る。 ③要望の集約・対応に取り組 む。

平和コーポレーション株式会社	大秋＝日吉東部ルート	平成28年10月からの運行であり、前回の事業評価実績なし。	A 計画どおり事業は実施された。	C 1日の稼働便数は1.60便、利用人数は2.54人で、目標値(1日2便、利用人数8人)は達成できなかった。導入1年目であり、利用人数の想定が困難であった。	①目標値については、今後の実績も踏まえて適正な目標値を検討する。乗合率が低いため、乗合によるデマンド交通利用を呼びかける。 ②引き続き、制度周知に努める。運転免許証自主返納支援制度の実施により自家用車から公共交通機関への利用の転換を促進する。また、デマンド交通の観光利用により、稼働便数、利用人数の増加を図る。 ③要望の集約・対応に取り組む。
----------------	------------	-------------------------------	---------------------	---	---

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	瑞浪市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内ファイダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	当市の公共交通の構築にあたっては、次の方針で取り組んでいる。 (1) 交通不便地域の解消 屋間の買い物や通院目的で利用できるコミュニティバスが通っていない地域を極力解消する。 (2) 公共交通ネットワークの構築 市内の公共交通ネットワークを一体的にとらえ、維持、活性化させる観点から、各公共交通の連携を強化する。 (3) サービス水準の維持、向上 地域ごとに、各公共交通のサービス水準をできるだけ維持することとする。 デマンド交通の運行(対象事業)は交通不便地域を解消し、地域間公共交通を補完する目的がある。